



杏林 2012 年度 入学試験 解答

I (英文 1)

- (ア) ④ 関係詞を用いる前の形は **the rest of the universe revolves around it.** であるので。
- (イ) ③ **not because ~ but because...** 「～だからではなく、...だからだ。」の“～”には **religious** が入り、それに対するものは文脈上 **authorities** となる。
- (ウ) ③ **even so, it moves** の文に対し、直後に **And the Earth continued to move** とあるので **move** しているのは **Earth**。また、「それでも地球は動く」というガリレオの発言を知って入れば、一発。
- (エ) ② **That** が指すものは顕微鏡。顕微鏡が切り開いたものはと何かを考える。また直後の同格のダッシュも参考に。
- (オ) ② 選択肢②「もっと早くに与えるべきだった (のにしなかった)」より第四段落最終文と一致。
- (カ) ④ 第五段落第七文と一致。
- (キ) ② 第六段落の内容と一致。
- (ク) ① 下線部直後の文と一致。
- (ケ) ③ 第八段落第一文と矛盾。
- (コ) ① 望遠鏡と顕微鏡がいかに人類の発展に貢献したかという本文の趣旨である具体例を抽象化したものが解答である選択肢①。

I (英文 2)

- (サ) ③ 4 行上に **Initial evaluation ruled out angina.** とある。
- (シ) ③ **differential diagnosis** の直後にあるカンマは同格のカンマ。
したがってこのカンマの後を読めばよい。
- (ス) ④ 第4段落6行目から7行目にかけて
an expert clinician typically forms a notion of what is wrong with the patient within twenty seconds とある。
- (セ) ③ **pivot on = depend on**
- (ソ) ① 空所の直後にある **pulling in the cues from all directions** はすべての方向から手がかりを引き寄せると訳せることから。
- (タ) ② **fresh-and-blood decision-making** は大学ではなくインターン初日に知ったこと。
- (チ) ④ 最終段落7行目以降 **it draws most heavily on the doctor's visual appraisal of the patient** から推理する。
- (ツ) ① 大学と実際の場面との違いに着目して文意に合う。
- (テ) ② 時間的な制約があつて医者たちはパターン認識を活用している、という意味の肢。はっきりとした記載はないが文意から読みとれる。
- (ト) ① 大学と実際の場面との違いに着目した文なので
最大の違いである **fresh-and-blood decision-making**こそタイトルにふさわしい。



杏林 2012年度 入学試験 解答

II

- (ア) ① 「**appreciate** の“程度”がどれだけであっても」なので、動詞に修飾しうる程度の意味を表す副詞を選択。
- (イ) ② 文脈上否定的な意味を持つのは明らか。②以外は肯定的な意味となるので×。
- (ウ) ① **work out** 「トレーニングする」。選択肢①“**workout**”は名詞であり、空欄には動詞を持ってきたいので本来は「解なし」としておきたいが・・・
- (エ) ③ **get ~ to on the table** 「~を話題として取り上げる、俎上に挙げる。」、そして **beating around the bush** 「遠まわしに言う」。後者には **no** がつき否定の意味になるので、ほぼ同じ意味となるため、③。
- (オ) ④ 文構造上副詞が入るので④。
- (カ) ① 「~する以前に一年働いていなかった」。start した時間よりも **had not work** した時間の方が前なので。
- (キ) ④ **judging from** ~ 「~から判断すると」。分詞構文。
- (ク) ① **see further than the end of your nose** 「目先以上の事を考える」。
- (ケ) ① 選択肢の中で、カンマまでで副詞節を作り上げれるものは **to** である。to 不定詞を作る
- (コ) ② **the time** に修飾する関係副詞 **when** の節は形容詞節であり、その中の時制は、未来のことなら未来の表現でよい。未来のことでも現在形で表わすのは副詞節のみ。
- (サ) ① 文脈上判断。**contributing to** ~ 「~に貢献する、~の一因となる」。
- (シ) ② 文脈上、**regret** の目的語の動作は、**regret** が現在時制で述べられているのに対し、過去の話。**regret to** 不定詞「残念ながら~する (to 不定詞の動作は未来)」、**regret doing** 「~したことを後悔する (動名詞の動作は過去)」。
- (ス) ② **let up** 「和らぐ、弱まる」
- (セ) ② 関係詞節を元文に戻すと、**Its structure is really unique.** となるため、関係代名詞所有格を補う。
- (ソ) ① **while** 以前の特良を持ち合わせていない形容詞は①のみ。



杏林 2012年度 入学試験 解答

III

- (ア) ① Bの「レポートを提出せねばならない」の発言で今すぐは無理だということが分かる。「後で会うために」何をすればよいかを考えればOK。
- (イ) ② Bの「(宿題が)ほとんど終わっていない」の発言に対し、Aは「大丈夫」と言っている。話の流れでは、その後、安心させるような発言が来るはずである。
- (ウ) ④ Bは何に対してお礼を言ったかを考える。「常にバーゲンを探している」BはAが言った情報を知れて感謝したのである。
- (エ) ① 意見が分かれている中で唯一できることと言えば「投票をする、採決を取る」ことである。
- (オ) ③ Aの最後の発言、Not at all. I was hoping you wouldにより、not at allでプラスイメージの文章を導いている。否定の意味 not at all で肯定の意味を導かせる質問は③の mind を使うもののみ。

IV

- (ア) ③ instead of ~ing になっていないのでおかしい。
- (イ) ① no doubt は「疑いもないことだが」の意味。
後ろの文が倒置になるわけではない。
- (ウ) ① what A is to B, C is to D
AのBに対する関係はCのDに対する関係と同じ。
- (エ) ③ safely と副詞にするか削除すべき。
- (オ) ④ in Shizuoka の in が余分。
- (カ) ③ notorious, scenes とすべき。one of に続くものは複数形にしなくてはならない。
- (キ) ③ makes ではなく make が正しい。
- (ク) ④ the other ではなく another にすべき。
- (ケ) ② recently は現在形では使用できない。these days か nowadays にすべき。
- (コ) ① In にすべき。in ~ 「～において」と訳す。